

ピーターパン便り



発行責任者：小野ロー 編集責任者：仲江川徹

『令和7年度 第三者評価受審のご報告』



日頃よりネバーランドへの温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

令和7年は、当施設にとって5回目となる第三者評価の受審の年でした。第三者評価は、子どもの安全と権利を守り、施設運営の質を継続的に向上させることを目的とした制度であり、「子どもの権利擁護」「職員体制」「生活支援の質」「安全管理」「組織運営」など、全国共通の基準に基づいて総合的に評価されます。また、児童養護施設では3年に1回の受審が義務化されています。

第三者評価受審に際しての心構えは大変ですが、外部の視点が入ることで、自分たちでは気づけないことが見えることも事実です。「子どもの権利」「支援の質」「組織運営」「職員育成」など施設として「できているか」ではなく「より良くするにはどうするか」という視点で評価をいただけるので、現場にとってありがたい部分です。

今回の評価では、毎年の自己評価で課題となっている点の指摘のほかにも「〇〇の体制の構築が望まれます」や「〇〇への取組みが望まれます」とより良くするための評価・ご指摘をたくさんいただきました。こうした結果を真摯に受け止め、しっかりと全体・チーム（ユニット）で振り返ってネバーランドの理念に沿った「こども中心」の施設運営を改めて大切にしていきたいと考えております。尚、評価結果につきましては近々ホームページにアップいたしますので、ぜひご覧ください。





令和7年 行事



【とちのキッドと節分】2月2日

今年の節分は、なんと「精霊法師とちのキッド」と一緒に豆まきをしました。子ども達は、とちのキッドとその仲間達が登場すると大喜び！更に、普段とは違ったユニークな鬼達の登場に、鬼を恐れていた子どもも笑顔になってしまうほど、全力で豆まきを楽しむ姿が見られました。



最後には、とちのキッド達と一緒に写真を撮ってハイタッチをする等、交流を深めて楽しい思い出を作ることができました。

子ども達は、憧れのとちのキッドとまた会える機会を楽しみにしております。
(文責：田沼)

【お花見】4月2日

この日はお花見の予定でしたが、天候の影響もあり壬生にある「わんぱく公園」へお出掛けをしました。子ども達は鹿沼市更生保護女性会の皆様と一緒に、自分の好きなエリアでやりたい遊びを選んで楽しんだり、買い物をしたりすることができました。それぞれ遊びに集中する姿やアスレチックで活発に身体を動かす姿等が見られ、その背景には常に大人がそばにいる安心感を味わっているようにも感じました。

帰園後には、「また行きたい」等の声上がり、本当に楽しい時間が過ごせたようです。今後も更生保護女性会の皆様との交流を楽しみにしております。ありがとうございました。
(文責：田沼)



【バス旅行】6月28日



毎年恒例のバス旅行。今年は池袋サンシャイン水族館に行ってきました。前日から楽しみでそわそわしている様子の子も達、当日はバスの運転手さんとガイドさんに大きな声で挨拶をして出発しました。水族館では、職員が用意した問題を片手に幼児さんから中高生までウォークラリーをしながら見学をしました。途中、珍しい生き物にびっくりする子どもや水槽

のガラスに貼り付いてクラゲを見る子ども等皆それぞれの感性を輝かせていました。昼食はレストランでのバイキングを楽しみ、つつい食べ過ぎてしまう子どももいましたが大満足な一日になりました。帰りのバスでは疲れて眠る子も多数、そんな楽しいバス旅行でした。
(文責：野岡)





【クッキング体験】 6月21日



鹿沼市更生保護女性会の皆様が企画してくださった『子ども達と一緒に取り組む事業』第1弾のクッキングでは、4歳から小学校3年生までの子ども達がサンドウィッチとカップデザート作りに挑戦しました。まずは、



キュウリや潰れやすいトマトを大人に支えてもらいながら真剣な表情でカット。そして、トマトを抜いたり卵を挟みすぎてはみ出したりしながらも、思い思いのサンドウィッチが完成しました。続いてデザート作りでは、生クリームが角が立つ様子に目を輝かせながら、たっぷりに盛り付けをしたり飾り付けを楽しんだりにぎやかな時間となりました。

(文責：鈴木李)



【林先生と壁面制作「やまなし」】 7月27日、8月3日



今回は、宮沢賢治の「やまなし」が題材！

林先生と一緒に
スプレー噴射！
慎重に・・・



それぞれが選んだ登場人物の型紙作成に夢中！



出来上がった壁面は・・・12月へGO！！



【お店屋さんごっこ】 7月26日



この度、鹿沼市更生保護女性会様から提案いただいた『子ども達と一緒に取り組む事業』第2弾のお店屋さんごっこをしました。いつもはお客さんになることが多い妖精の森ユニットの子ども達ですが、今回は自分達がお店屋さんとなり学童さん達に買い物をしてもらいました。一人一店任されて看板作りから始まり、当日店頭では「いらっしゃいませ」と呼び込みをしたり品物を提供したりと張り切っていました。お客さんとなる学童さんには金券の後ろにメッセージを書いてもらい、お店屋さんをやった子ども達はたくさんのお礼の言葉をもらって「楽しかった」「お客さん来てくれた」と喜んでいました。(文責：齋藤泰)



《出店》

ジュース屋さん、かき氷屋さん、水鉄砲屋さん(的当て)
フランクフルト屋さん、ワッフル屋さん、おにぎり屋さん
ポップコーン屋さん、くじ引き屋さん





【やまざき夏のパン祭り】

8月23日



今年は、「フランクロール
パン」と「桜あんぱん」
を作りました！



【H.C.栃木日光アイスバックス招待試合】 9月23日

アイスホッケーの試合観戦が初めてでルールもぼんやりな試合当日でしたが、子ども達の応援にはそんなことを感じさせない力強さがありました。会場は9月とは思えない寒さでしたが、試合が進むにつれて応援に熱が入り上着を脱ぐ子ども達が多かったです。そして、子ども達の応援の声が届いたよう



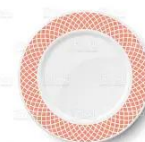
で、無事試合も3-2で勝利をおさめることができました。初めての体験と興奮もあり、「また行きたいね」という子どもの声が印象的でした。

招待していただいた栃木SCの佐藤選手、貴重な経験をさせていただいたH.C.栃木日光アイスバックスの皆様、ありがとうございました。
(文責：鈴木達)



【ドックラン&絵付け教室】 10月25日

鹿沼東ロータリークラブ様からご招待いただき、「鹿陽の森」でドックラン体験とお皿の絵付けを楽しみました。最初は犬を怖がる子もいましたが、優しい犬達に触れるうちに笑顔がどんどん広がり、餌やりやボール遊びで大盛り上がり。絵付けではカラフルなデザインに挑戦し、夢中になって作品作りに取り組む子ども達の姿が輝いて見えました。昼食のハンバーグとデザートも大好評で、子ども達から「おいしい！」の声が溢れ完食。笑顔いっぱい的一天になりました。
(文責：川端)





【すいーつクラブ】 11月8日



今回で 21 回目を迎えたすいーつクラブも、名残惜しいですが最終回を迎えました。普段は参加していない低学年の小学生も参加し、小学生全員での「黒ゴマミルクもち」作りとなりました。初参加で慣れていない低学年児童に優しく教えてあげる高学年児童の姿がとても頼もしく思える中、火加減が強すぎて餅が固くなってしまって苦笑いした一面もありました。しかし、それも大笑いに変えてしまうのが山崎マジック！最後まで楽しませていただきました。会の終わりにはこれまでお世話になった管理栄養士の山崎先生に代表児童からのお礼の言葉で閉会しました。たくさんの楽しい時間と美味しいスイーツをありがとうございました。



(文責：野岡)



【林先生企画】 12月3日

毎年、一般財団法人さぶん環境・文化プロジェクト理事長の林香君先生からのお誘いで七色土玉を使ってお皿を作っていましたが、今年は七色土玉でタイルを作りました。子ども達はお皿作りには慣れていますが、タイル作りは初めてなので皆集中して頑張りました。まずは型紙に下絵を描き、色を決めます。そして、そこへ粘土を敷き詰めていきます。細かい絵を描いた児童も、自分で決めた配色に合わせて粘土を敷き詰めるのに悪戦苦闘していました。

完成したタイルは、栃木県こども総合科学館にて 12/14～12/27 まで開催された『ざぶん展』内で展示され、皆で見に行きました。(文責：仲江川)



できあがった
「やまなし」の壁面だよ！！



【山崎先生・宇賀神先生とフライパン調理実習】 12月13日



第 60 回、最後の調理実習は
「肉巻き」！



いつも美味しい食材
をごちそう様でした。



美味しかったし、
楽しかったです！





【施設文化祭】 12月14日



今年のネバーランドは個人 44 作品と団体 2 作品を出品し、個人 4 点と団体 2 点が見事入賞となりました。

妖精の森ユニットでは、個性豊かな作品を作ることができて達成感を味わっている様子でした。実際に真岡市久保講堂に作品を見に行った後は、「文化祭の作品見てきたよ！またビーズやりたい！」など今後も期待できる嬉しい言葉が聞かれました。

人魚の入江ユニットでは、題材を考えた時にそれぞれ素敵な夢をもっていることに気がつき、将来の夢をちぎり絵で表現してみることにしました。最初は細かい作業に苦戦していましたが、最後 1 枚の絵になると「すごい！」と皆で喜んでいる姿が印象的でした。残念ながら今年は賞に入ることはできませんでしたが、その悔しさから「来年こそ！！」とやる気に満ち溢れています。



(文責：田沼・関根)



【バイクサンタ来園】

12月21日



毎年子ども達を楽しみにしているバイクサンタさんが、今年もネバーランドに来てくれました。皆でつどの部屋に集まってバイクサンタさんを拍手でお出迎えした後、クリスマスプレゼントにお菓子などをいただきました。いただいたプレゼントに大はしゃぎする子ども達、我慢できず皆でお菓子を食べてとても満足した様子でした。

最後に小学生が代表でお礼の言葉を伝え用意した色紙をプレゼントして皆でお礼をしました。



毎年子ども達のためにお越しいただき、ありがとうございます。(文責：野岡)



【クリスマス会】

12月25日



今年もクリスマス会ではなんと、ネバーランド初マグロの解体ショーを行いました。大きなマグロが解体されている工程を間近で見て、「すごい」「初めて見た」という声が子ども達からたくさん聞こえてきました。更に、サプライズでとちのキッドが来てくださり、マジックショーとチョコのプレゼントをいただきました。チョコは、「アカリチョコレート」様からの贈り物でした。また、とちのキッド達のマジックショーでは初体験のマジックに子ども達は目をキラキラさせて楽しんでいました。なかには一緒にマジックに参加した子もいて、夢のような時間を過ごせました。今年のクリスマスも多くの地域の方や企業の方々からお菓子やケーキのご寄付をいただき、感謝の気持ちでいっぱいになりながら楽しいクリスマス会を過ごすことができました。ありがとうございました。

(文責：阿部、寺島)



【宇都宮陽南 RC 宇都宮さつき RC 主催】



「PC 教室」

今年から小学生も
一緒にやったよ！



パソコンは一人
一台。自分で課
題を決めて取り
組めます。



【栃木 SC との一年】



シーズンの合間を縫って、栃木 SC の佐藤祥選手を中心に選手との交流をたくさん企画していただきました！

昨年度末（25 年 3 月）に今までネバーランドと栃木 SC を繋げてくれていた元選手の『菅ちゃん』こと菅和範さんと一緒に来園したのをきっかけに、佐藤選手がホームゲームに招待してくださったり一緒に日光アイスパックスの試合観戦に行ったりしました。また、その都度チームの選手を数名連れてきて、ネバーランドの庭で子ども達と一緒にドッジボールや鬼ごっこなどをして、楽しく遊びました。直近では、12 月 13 日に岩崎選手と屋宜選手、元キャプテンで現在は栃木 SC フロントスタッフの廣瀬浩二さん 4 名で来園してくださり、園庭で一緒に遊び、その後はそれぞれユニットで子ども達と一緒に昼ご飯を食べました。午後は伝言ゲームなどして、最後はお決まりのサイン会で楽しく過ごしました。



3 選手とも来季も栃木 SC での雄志が見られます。来季は J2 に昇格できるようネバーランド一丸となって応援したいと思います。



（文責：仲江川）

たくさんのご寄付・ご寄贈ありがとうございました。

《個人》

阿部純子 石川富士男 大木美幸 荻原明信・志美 加藤雅子 小平光志 佐藤健寿 澤田愛子
白石悌次 杉山信夫 曾我和容 畠山裕子 樋口勇氣 藤田さいき 藤田理恵 八木沢利夫・イミ子
吉田美津代 渡辺盟夫

《団体》

青木蔦工業 光明寺 全国シャンメリー協同組合 チュチュアンナ1%クラブ 日本鏡餅組合
ほっともっと 毎日新聞東京社会事業団

※令和7年5月1日から令和7年12月31日までの方々です。五十音順・敬称は略させていただきます。

《社会福祉法人仁篤会理念》

児童福祉法および児童憲章の精神に基づき、環境を通して

個性の豊かな子、創造性の豊かな子、実践する子

を育む。

《児童養護施設ネバーランド理念》

われらは日本国憲法の精神にしたがい、児童に対する正しい観念を確立し全ての児童の幸福をはかるためにこの憲章を定める。

- ・児童は人として尊ばれる
- ・児童は社会の一員として重んぜられる
- ・児童は良い環境の中で育てられる

(児童憲章 S26.5.5 制定)

児童養護にあたっては、児童の最善の利益が主として考慮されるものとする。子どもの権利条約の精神に基づき、子どもの人権を擁護する。とりわけ、知ること、意見を言うこと、選ぶこと、暴力から守られることを基本理念として養護にあたる。

編集後記

広報誌を作っていると、たくさんの方々に支えられていることが実感されます。本当にありがとうございます。(広報委員一同)



HP も
見てね！

発信元

社会福祉法人仁篤会 児童養護施設ネバーランド

〒322-0523 栃木県鹿沼市下奈良部町 1-81

TEL0289-71-1103

FAX0289-75-5363

e-mail: ccw-neve@hb.tp1.jp